

ぼ う う け あ み

ぎ よ ぎ よ う

[がいこくじん ぎのうじっしゅうせい よう きょうざい]

だいにほんすいさんかい

はじめに

この きょうざいは あなたがた がいこくの かたがたが
にほんの 「ぼううけあみ ぎよぎょう」の ぎのうじっしゅう
を うけるときに やくだつように さくせい しました。

なれない にほんごの きょうざいですが みなさんが
わかりやすいように 「ぼううけあみ ぎよぎょう」 について
やさしく せつめいして あります。

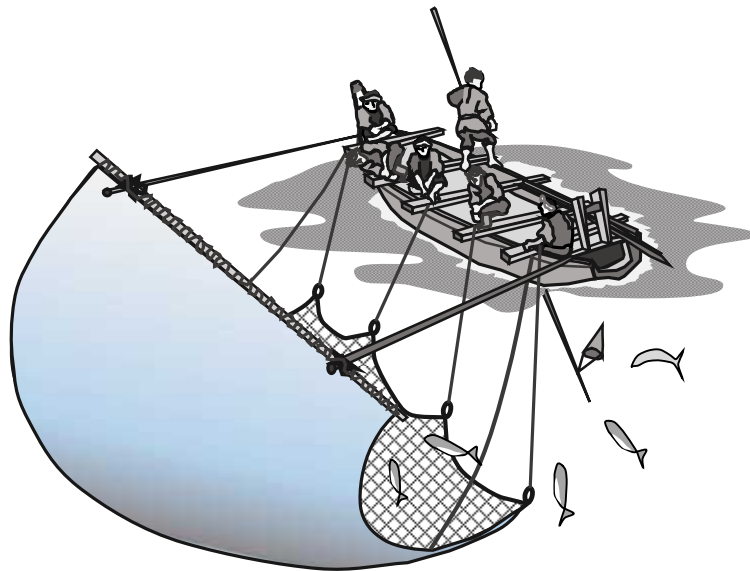
もし わからない ところが あれば ぎのうじっしゅう
しどういんや にほんじんの のりくみんに しつもんして
きそてきな ちしきを いちにちも はやく みに つけて
ください。

もくじ

1. ぼううけあみ ぎよぎょう
2. そうぎょう ほうほう
3. ぼううけあみの ぎよろうせつびと ぎよぐ
4. ぼううけあみで とる さかな
5. さぎょうじょうの ちゅうい

1. ぼううけあみ ぎょぎょう

ぼううけあみぎょぎょうは うみの ひょうそうを およぐ さ
かなを、 ひかり または えさを りょうして、ふねの ちかく
に あつめ、むこうだけと よばれる ふりよくのある ぼうを
とりつけた あみで すくいあげる ぎょほう です。



2. そうぎょう ほうほう

そうぎょうは にちぼつ から よあけに かけて おこないま
す。ひところかい は 1にち～2しゅうかんに なります。

ぎょぐんの たんさくから ぎょかくまで

【たんさく】

① そうぎょうかいいきに とうちやくご、 さーちらいと、 ぎょぐんたんちき、 そなーを つかって さかなの むれを さがします。

② さーちらいとで かいめんを てらすと さかなが とびはねるため、 むれを はっけん できます。

ふねの とおく から ふねに ちかづけるように てらすことで さかなを ふねの ちかくに ゆうどう します。

③ そなーでは ふねから 1～2キロメートル はなれたところ、 ぎょぐんたんちきでは ふねの したにいる さかなの むれを さがすことが できます。

【しゅうぎょ】

さかなを あつめることを 「しゅうぎょ」と いいます。

④ さかなを みつけたら ふねにある すべての しゅうぎょと うを てんとうして さかなの むれを ふねのまわりに あつめます。

⑤ひとのめと ぎょぐんたんちきで ふねのまわりに さかな
が じゅうぶん あつまったことを かくにんします。

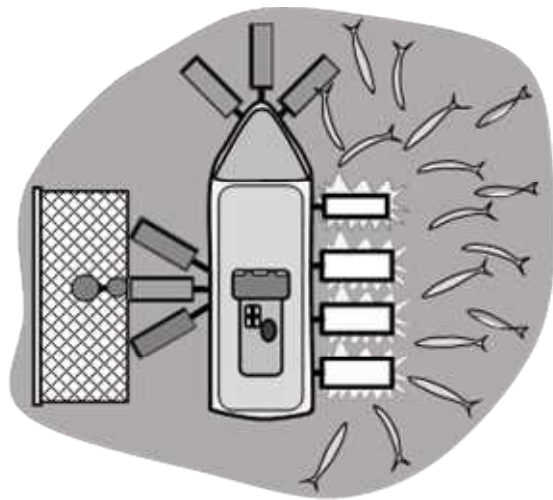


【とうもう】

⑥じゅうぶんな りょうの さかなが あつまったら うげん
の しゅうぎょとうは てんとうしたまま、 さげんの し
ゅうぎょとうを けします。

⑦さかなの むれを うげんに あつめている うちに、 さ
げんで あみを うみに いれます。

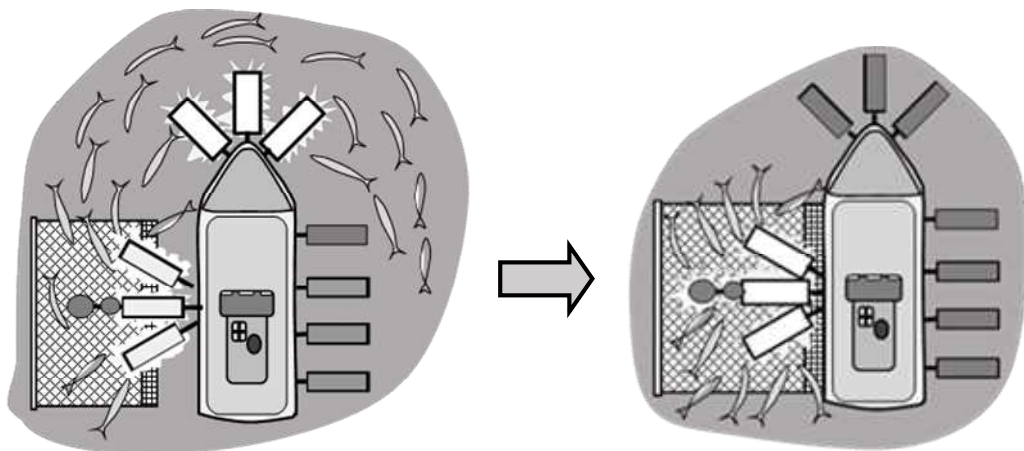
⑧おおがたせんは さいどすらすた一を、 こがたせんは か
ぜや しおのながれを りょうして ふねと あみを ひろ
げます。



【ゆうどう】

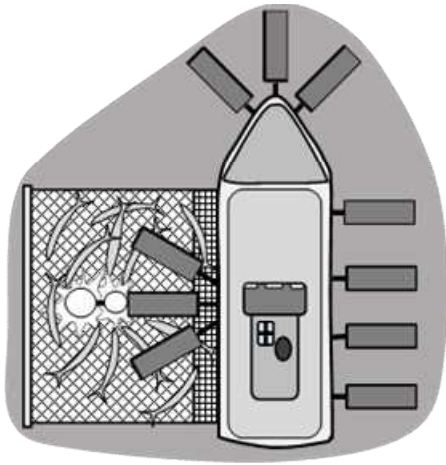
⑨うげんの しゅうぎょとうを せんびから じゅんばんに けします。

⑩せんしゅと さげんの しゅうぎょとうを じゅんばんに つけて さかなの むれを さげんの あみの うえに ゆうどうします。



【しゅうやく】

- ⑪しゅうぎょとうを すべて けして ゆうどうとうを つけます。これにより さかなが かいめんちかくに たくさんあつまります。



【かんじめ】

- ⑫かんじめわいヤーを かんまきういんちで まきあげるのどうじに あみの はしについた ひきあげつなを ういんちで まきあげて あみの なかに さかなを とじこめます。

- ⑬しゅうぎょとうを すべて つけて つぎの りょうに むけて さかなを あつめます。

【あみじめ】

⑭さいどろーらーや ぼーるろーらーを つかって あみを
かんぱんに ひきあげることで さかなを あみの うおど
りぶに あつめます。

【うおくみ】

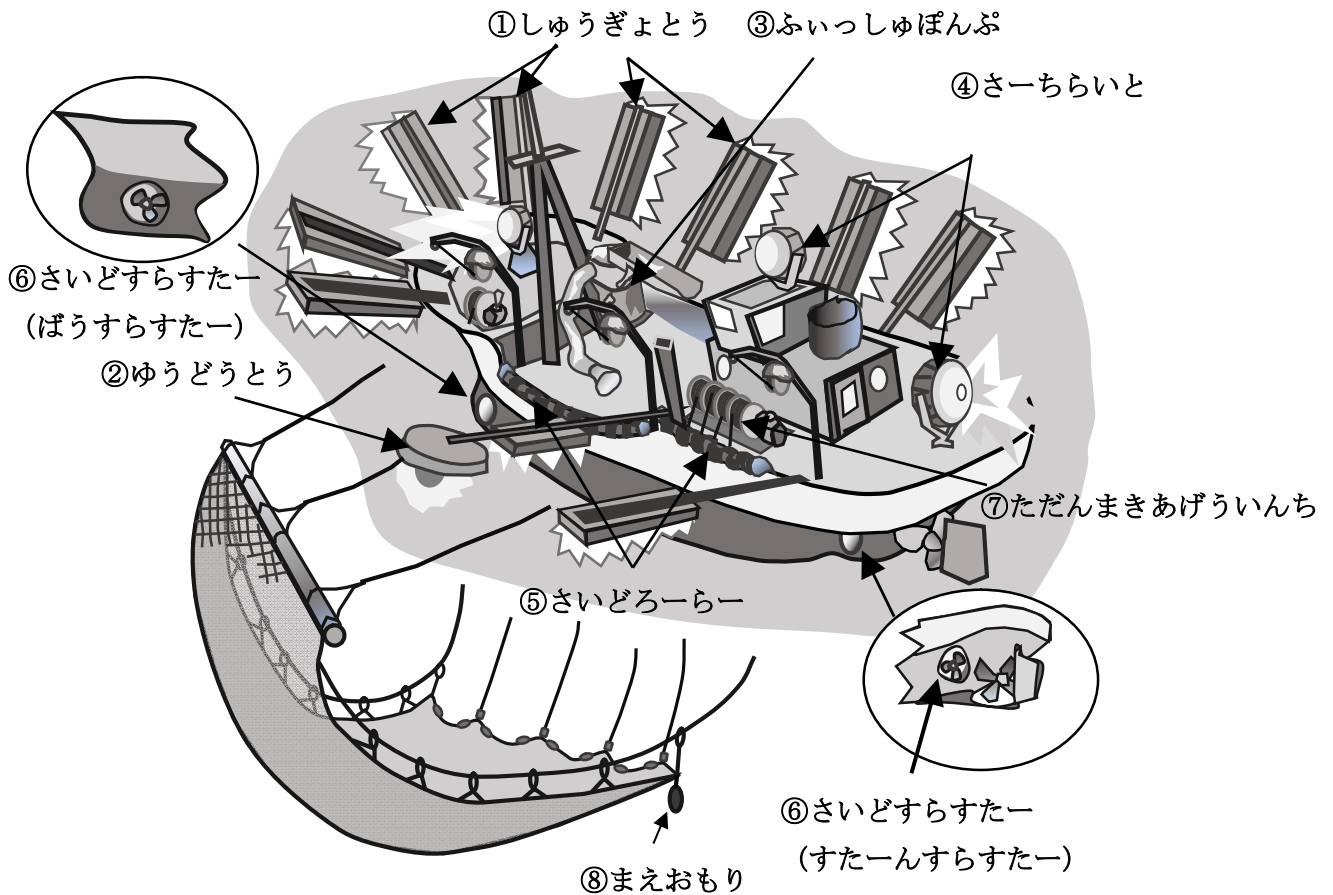
⑮ふいっしゅぽんぷの きゅうすいぐちを あみの なかに
いれて さかなを すいこみます。
すいこんだ さかなは かいすいと わけて ぎょそうのな
かに とりこみます。

【ほかん】

⑯くだいた こおりと かいすいで かいすいごおりを つく
って さかなを ひやします。

3. ぼううけあみの ぎょうせつびと ぎょぐ

【ぼううけあみの ぎょうせつび】



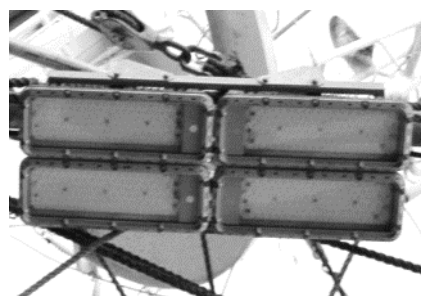
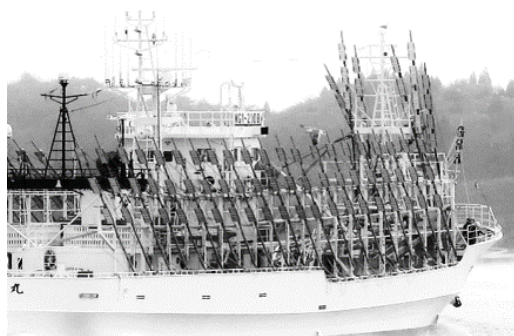
①しゅうぎょとう

さかなを ふねの まわりに あつめたり ゆうどうするための
あかり です。2010ねんいこうは おもに LED (えるいー
でいー) が つかわれています。

しゅうぎょとうは しゅうぎょとうざおと よばれる ぼうに

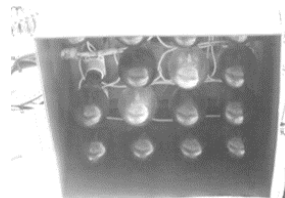
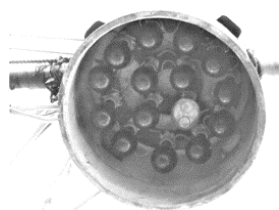
とりつけ、ふねのそとに はりだします。

しゅうぎょとうざおは かいめんにたいして 30~40どの
かくどで はりだします。



②ゆうどうとう

あみのうえに あつまった さかなを かいめん ちかくに あ
つめる ための あかりです。



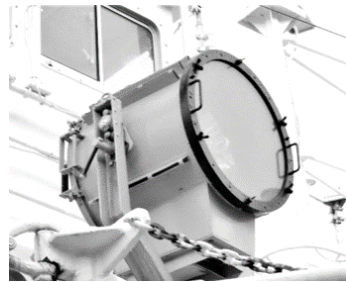
③ふいっしゅ ぽんぷ

あみの なかの さかなを すいこんで ぎょそうに いれるた
めの ぽんぷです。



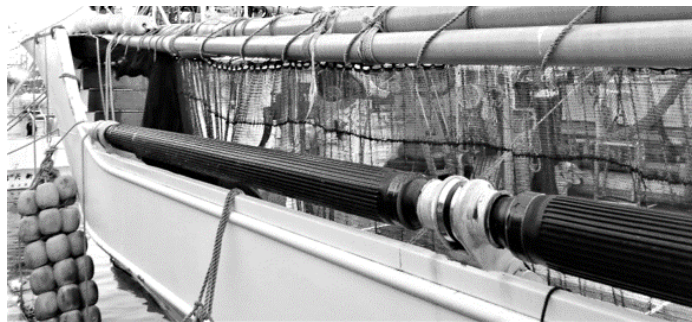
④さーちらいと

せんしゅと ぶりっじに せっちしてあります。 さかなの むれ
を さがすときに つかいます。



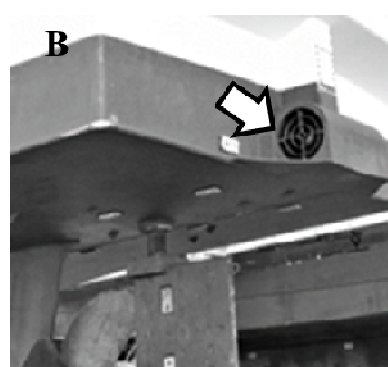
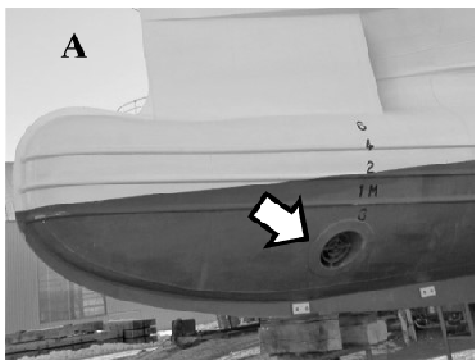
⑤さいどろーらー

ふねの よこに あり あみを ひきあげるための ろーらー
です。



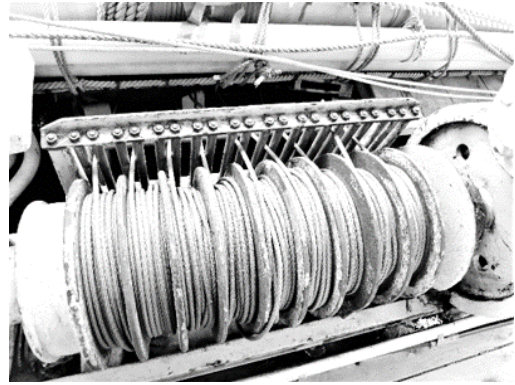
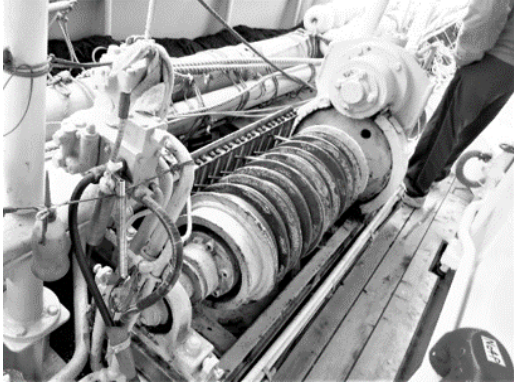
⑥さいどすらすたー (A:ばうすらすたー B:すたーんすらすたー)

ふねを よこほうこうに うごかすための きかいです。



⑦ただんまきあげういんち

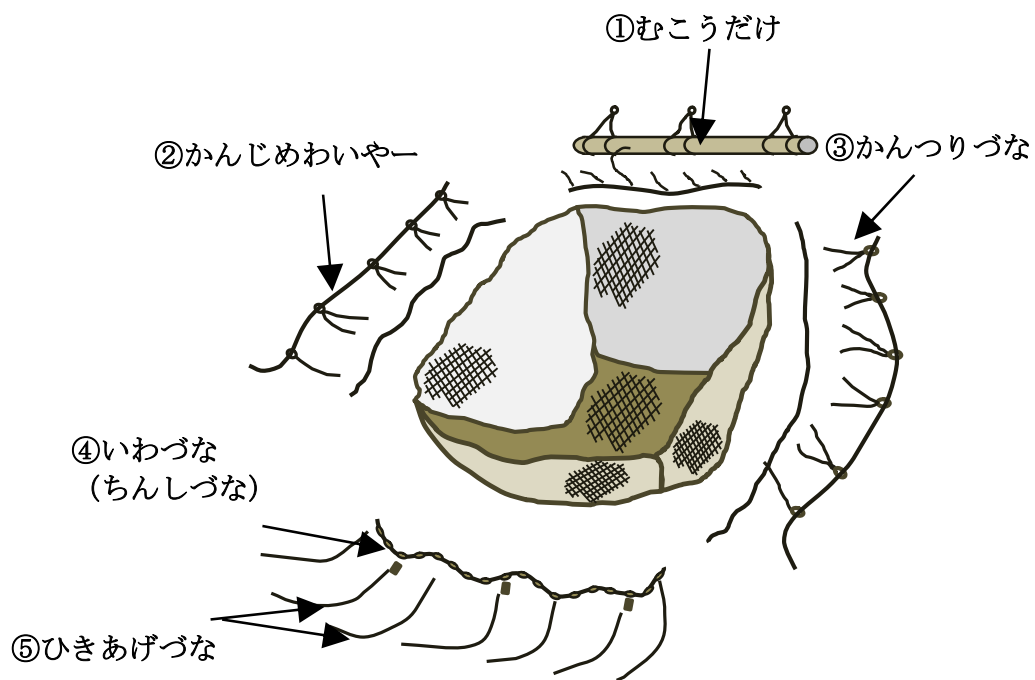
あみつりづな（わいやー）を まとめて まきあげるための き
かいです。



⑧まえおもり

あみを はやく しずめる ために ちんしづなに とりつける
おもりです。

【ぼううけあみの こうぞう】



①むこうだけ

あみを かいめん から つりさげる ための ぼうじょうの
うき。たけや FRP (えふあーるぴー) ぱいぷが つかわれます。



②かんじめわいヤー

あみの すそ (りょうはし) を しめるための わいヤーです。

③かんつりづな

あみの すそ (りょうはし) に ついた ろーぷと かんを つ

なく ろーぷです。

④いわづな (ちんしづな)

あみを しずめるための いわ(おもり)が ついた ろーぷです。

⑤ひきあげづな (わいやー)

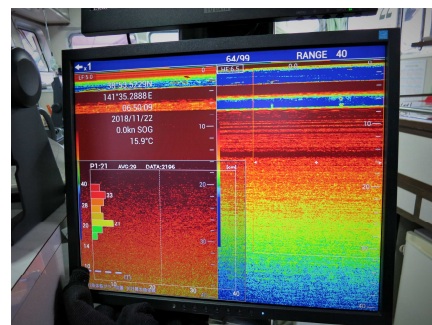
しずめたあみを ひきあげるための ろーぷ (わいやー) です。

【ぶりっじの きかい】

ぶりっじの なかには こうかいや そうぎょうで ひつような
きかいが あります。



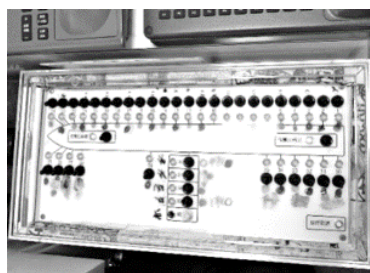
ぶりっじ ないぶ



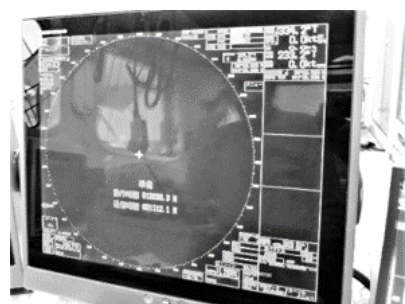
①魚群探知機



②そなー



③しゅうぎょとうそ



④れーだー

①ぎょぐんたんちき

ふねの したにいる さかなの むれを さがす きかいです。

②そなー

ふねの まわりにいる さかなの むれを さがす きかいです。

③しゅうぎょとうそうさばん

しゅうぎょとうの てんとう、しょうとうなどの そうさが できる きかいです。

④れーだー

ほかの ふねや ぶい などの いちを せいかくに することができます きかいです。

⑤GPS (じーピーえす)

じぶんの ふねの いちを せいかくに することができる きかいです。

4. ぼううけあみで とる さかな

ぼううけあみでは おもに さんまを とります。

このほか いわし、あじ、さば などを とることも あります。

☆さんま

からだは ほそながく、せがわは くらい あおいろ、はらがわは ぎんはくしよくです。おおきさは ぜんちょう 35せんちめーとる (35cm) ほどです。



☆まいわし

からだの いろは せがわが あおみどりいろ、はらがわが ぎんはくしよくです。からだの そくめんに くろいろの はんてんが 1れつに ならんでいます。うろこは うすく はがれやすい。おおきいものは 30せんちめーとる (30cm) に なります。



☆かたくちいわし

からだのいろは せがわが くらいあおいろ、はらがわが ぎんはくしょくです。うろこは うすく はがれやすい。おおきいものは 18センチメートル (18 cm) になります。



☆うるめいわし

からだのいろは せがわが くらいあおいろ、はらがわが ぎんはくしょくです。おおきいものは 30センチメートル (30 cm) になります。めがおおきい。



☆まあじ

からだのいろは うすい きいろで 「ぜいご (ぜんご)」という かない うろこが あります。おおきいものは 50センチメートル (50 cm) になります。



☆まさば

せがわに くろい しまもようが あります。

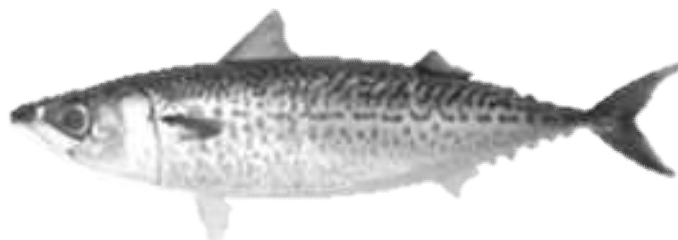
せなかの うしろには 「はなれびれ」が あります。

おおきいものは 50センチメートル (50cm) に なります。



☆ごまさば

まさばと よく にていますが はらがわの ぎんはくしよくの
ぶぶん に くろい はんてんじょうの もようが たくさん あり
ます。



5. さぎょうじょうの ちゅうい

(1) ぎょせんには せまいところに きかいが おおくあるので
はさまれたりしないように じゅうぶん ちゅういします。

(2) あみいれの ときは うごいている あみや ろーぷに
ちかづかないように します。

(3) あみあげの ときは ぬれた おもい あみを あつかうの
で からだの ぼらんすを くずさぬように あしもとを
じゅうぶん ちゅういします。

(4) さかなを とりこむときに すべって ぎょそうや あみの
なかに おちないよう ちゅういします。